

## 財政力指数

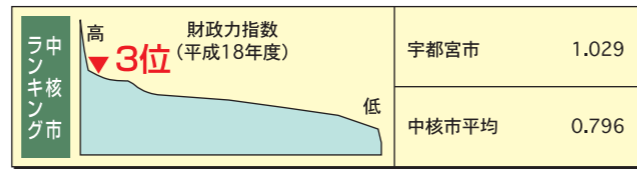
### 依然として高い財政力指数

財政力の強弱を示す指標として用いられる財政力指数は、平成18年度1.029となっています。

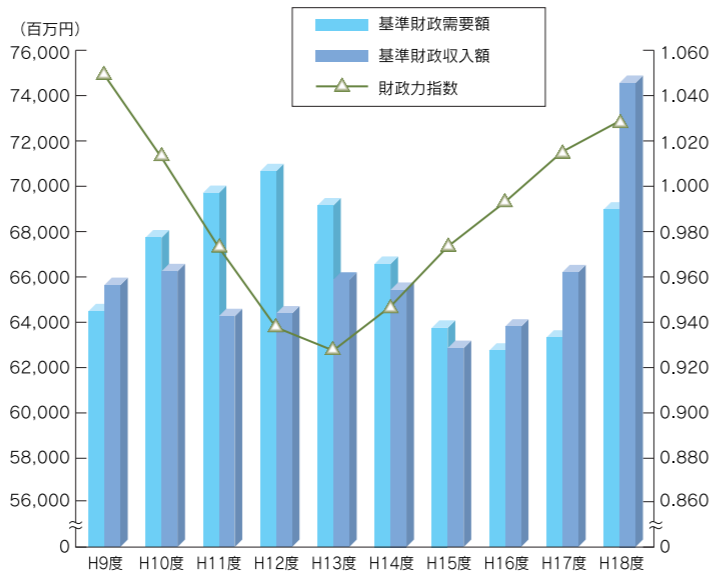
※財政力指数  
基準財政収入額/基準財政需要額  
財政力の強弱を示す指標として用いられ、一般的にはこれが1に近いほど財政力が強いとみなされ、1を超える団体は、普通交付税の不交付団体となる。なお、通常は直近3カ年度の平均の数値が用いられる。

※基準財政需要額  
合理的で妥当な水準で行政活動を行っていくために、必要最小限とされる財政需要額。

※基準財政収入額  
標準的に徴収することができる税収入を一定の方法で算出した額。



(宇都宮市財政白書(平成18年度決算):1市2町合計)



※財政力指数は直近3カ年の平均(平成17年度までは、旧宇都宮市の数値) (宇都宮市財政課)

## 決算

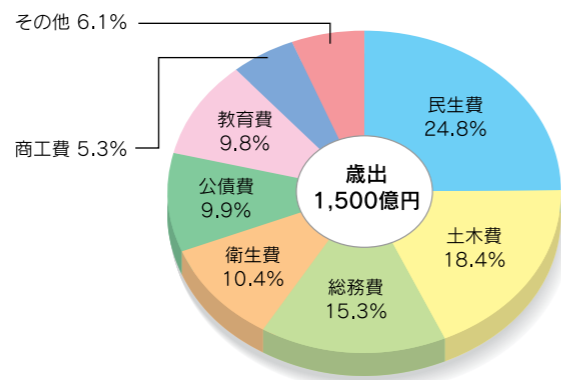
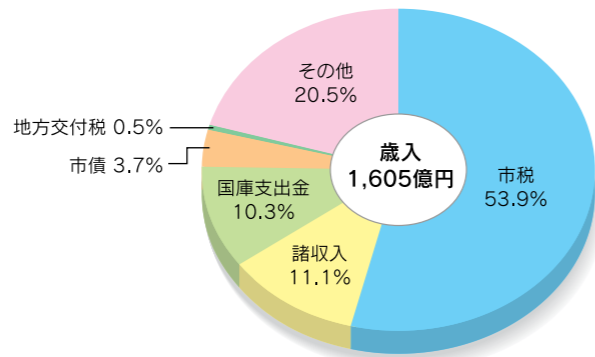
### 歳出額の24.8%を占める民生費

旧宇都宮市の平成18年度一般会計決算額は、歳入1,604億7,152万円、歳出1,499億7,456万円となっています。

歳入の内訳では、市税が53.9%と最も多く、次いで諸収入11.1%、国庫支出金10.3%、市債3.7%となっています。

歳出では、民生費が24.8%と最も多く、次いで土木費18.4%、総務費15.3%、衛生費10.4%の順となっています。

一般会計決算額内訳(旧宇都宮市:平成18年度)



(宇都宮市財政課「主要な施策の成果報告書」)

## 市民1人あたりの税負担

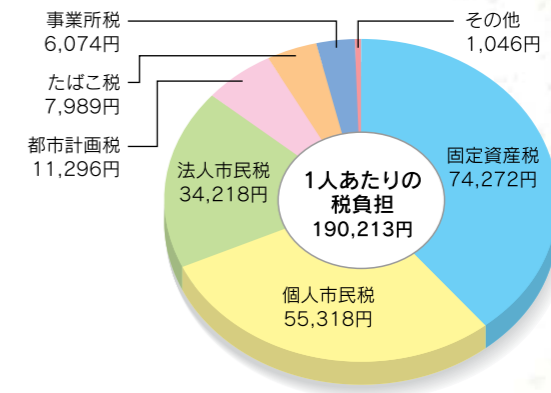
旧宇都宮市の平成18年度市税総額は865億4,987万円で、収入全体の53.9%となっています。

市税の収入額を市民1人あたりに換算すると、合計190,213円となります(平成18年度一般会計決算、平成19年3月末日人口(455,016人)で算出)。

内訳で最も多いのは、固定資産税の74,272円で、続いて個人市民税、法人市民税となっています。

## 固定資産税、法人・個人市民税 市税全体の約86%

市民1人あたりの税負担額(旧宇都宮市:平成18年度)



(宇都宮市財政課「宇都宮市の財政」)

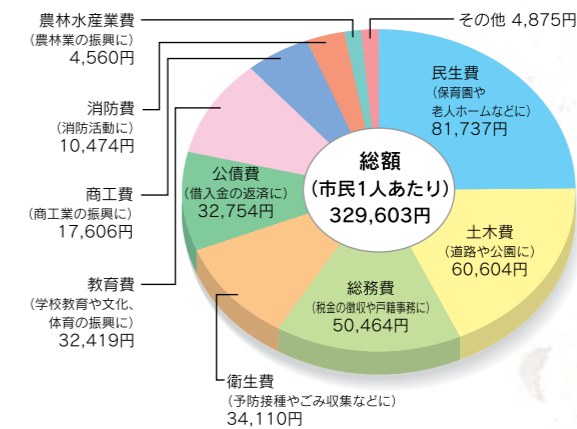
## 市民1人あたりの支出

市民1人あたりの、市のお金の使われ方を目的別にみると、保育園や老人ホームなどの「民生費」が最も多く、続いて道路や公園を建設するための「土木費」、税金の徴収や戸籍事務の「総務費」となっています。

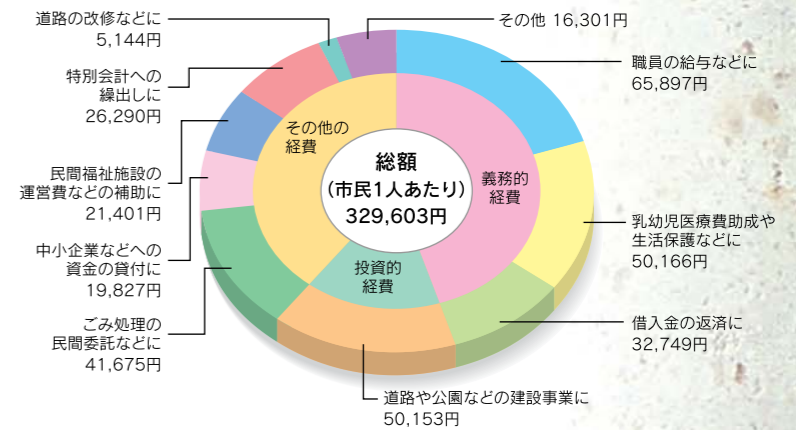
性質別にみると、人件費などの「義務的経費」が約45%となっています。

## 目的別では、民生費、土木費、総務費に約59%支出 性質別では、義務的経費に約45%支出

目的別(旧宇都宮市:平成18年度)



性質別(旧宇都宮市:平成18年度)



(宇都宮市財政課「宇都宮市の財政」)